



みんなて楽しいスタジアムをつくらう。
J1、J2、J3、全クラブ共通の観戦マナーです。

- No Bottles or Cans
ビール、缶ビール、持ち込み禁止
- No Fireworks, Smoke Cansisters or Horns
花火、爆竹、煙草、ガスボンベの持ち込み禁止
- No Throwing
フィールドへモノの投げ込み禁止
- No Jumping Down to the Field
フィールドへの飛び降り禁止
- No Violence
暴力行為の禁止

AFC Champions League 2018
Group E Matchday Two
2018.02.20 TUE

VS 天津権健(中国)



チカラをひとつに。
-TEAM AS ONE-

柏から世界へ



タフに戦い、勝利を掴め! ホーム日立台で巻き返した

ア ウエイの全州で行われたAFCチャンピオンズリーグ(ACL)・グループステージ第1戦。全北現代戦は、2点を先行した前半から一転、後半に3点を失い、逆転負けを喫するショッキングな結果となった。「簡単に勝たせてもらえない厳しさを味わった」(大谷)というように、ACLで勝つことの難しさを改めて痛感させられた試合だった。

第2戦の相手は中国の天津権健だ。超級リーグ昇格初年度の昨年にリーグ3位となり、プレー

オフの末にACL初出場権を勝ち取った。FWアレシャンドレ・バト(ブラジル)、FWアントニー・モデスト(フランス)、MFアクセル・ヴィツェル(ベルギー)という欧州・南米の代表クラスを擁しており、初陣となった前節の傑志(香港)では3-0と破壊力を誇示。それだけに中山も「自分たちがゲームを支配して『行ける』という感覚を持っていても、一発でひっくり返せる力がある」と警戒を強めている。

見方を変えれば、第1戦の敗戦はJリーグとは

異なる対戦相手の特徴、ピッチ状況、ジャッジの基準など、アジアで戦うことの難しさを体感した点に関してはACL初挑戦となる選手が多い中において貴重な経験になったとも言える。ACLは決して生半可な戦い方では勝ち抜けない。それぞれの選手がマッチアップする目の前の相手に打ち勝ち、いかにタフに戦えるかが問われることになるだろう。

悪夢の逆転負けの教訓を無駄にはしない。レイソルの巻き返しは、ホーム日立台から始まる。

ハタメグミのお絵かき日立台

今宵のホーム日立台での戦いはACL!
前節はアウェイで悔しい逆転負け、でも今日は天津に勝ってしっかり勝ち点を積み上げましょー!
柏から世界へ★



食べ尽くせ!! 日立台グルメ

- 鳥よし(カレー など)
- ローソン(おにぎり など)
- ブラウンシュガー(焼きそば など)
- 日京クリエイト(レイソル勝つサンド など)
- ローソン(おにぎり など)
- Labo Café×E・S・A(プルたま丼 など)
- ITSブラジリアンバーベキュー(レイソル勝つドッグ など)
- ボンベイ×日立台カレー(レイソルカレー など)
- 海賊船(たこ焼き など)
- エフェケバ(ドネルケバフ など)
- ブラウンシュガー(ステーキプレート など)
- 日京クリエイト(2/20は休業)
- 侍(もつ煮込み など)
- ローソン(おにぎり など)
- ドミノピザ(ピザ各種 など)
- D&C(チーズドッグ など)

柏レイソル vs 天津権健

KASHIWA Reysol

[監督] 下平 隆宏 Takahiro SHIMOTAIRA

- 1 GK 桐畑 和繁 Kazushige KIRIHATA
- 2 DF 鎌田 次郎 Jiro KAMATA
- 3 DF ユン ソギョン YUN Suk-Young
- 4 DF 中谷 進之介 Shinnosuke NAKATANI
- 5 DF 中山 雄太 Yuta NAKAYAMA
- 7 MF 大谷 秀和 Hidekazu OTANI
- 8 MF 小泉 慶 Kei KOIZUMI
- 9 FW クリスティアーノ CRISTIANO
- 10 MF 江坂 任 Ataru ESAKA
- 11 FW 山崎 亮平 Ryohei YAMAZAKI
- 13 DF 小池 龍太 Ryuta KOIKE
- 14 FW 伊東 純也 Junya ITO
- 15 MF キム ボギョン KIM Bo-Kyung
- 16 GK 滝本 晴彦 Haruhiko TAKIMOTO
- 17 MF 手塚 康平 Kohei TEZUKA
- 18 FW 瀨川 祐輔 Yusuke SEGAWA
- 19 MF 中川 寛斗 Hiroto NAKAGAWA
- 20 FW ハモン ロペス RAMON LOPES De Freitas
- 21 GK 猿田 遥己 Haruki SARUTA
- 22 DF バグ ジョンス PARK Jeongsu
- 23 GK 中村 航輔 Kosuke NAKAMURA
- 24 DF 宮本 駿晃 Toshiaki MIYAMOTO
- 25 MF 田中 陸 Riku TANAKA
- 26 DF 古賀 太陽 Taiyo KOGA
- 27 DF 今井 智基 Tomoki IMAI
- 28 MF 栗澤 僚一 Ryoichi KURISAWA
- 29 DF 中川 創 Sou NAKAGAWA
- 30 MF 澤 昌克 Masakatsu SAWA
- 37 MF 細貝 萌 Hajime HOSOGAI
- 39 DF 亀川 諒史 Masashi KAMEKAWA

Staff

- ヘッドコーチ/加藤 望 Nozomu KATO
- コーチ/岩瀬 健 Ken IWASE
- フィジカルコーチ/松原 直哉 Naoya MATSUBARA
- GKコーチ/松本 拓也 Takuya MATSUMOTO

2018.02.20 TUE 日立柏サッカー場
19:00 KICK OFF

天津権健足球俱樂部

[監督] パウロ・ソウザ PAULO SOUSA

- 1 GK ジャンルー ZHANG Lu
- 2 DF リウ・ション LIU Sheng
- 3 MF ワン・ジエ WANG Jie
- 4 DF リウ・イーミン LIU Yiming
- 6 DF ペイ・シュアイ PEI Shuai
- 7 MF ジャオ・シュリー ZHAO Xuri
- 9 FW ヤン・シュ YANG Xu
- 10 FW アレシャンドレ・パト ALEXANDRE PATO
- 15 MF リウ・ユエ LIU Yue
- 16 MF ジョン・ダールン ZHANG Dalun
- 17 FW スー・ユエンジェ SU Yuanjie
- 18 DF ジャン・チョン ZHANG Cheng
- 19 MF ワン・シャオロン WANG Xiaolong
- 20 MF ジャン・ユエン ZHANG Yuan
- 21 DF クォン・ギョンウオン KWON Kyungwon
- 22 GK ヤン・ジュン YANG Jun
- 25 DF ミー・ハオルン MI Haolun
- 26 DF リウ・イー LIU Yi
- 27 FW アントニー・モデスト Anthony MODESTE
- 28 MF アクセル・ウィツェル Axel WITSEL
- 31 MF ウェン・ジュンジェ WEN Junjie
- 32 GK スン・チーピン SUN Qibin
- 33 DF チュ・ジンジャオ CHU Jinzhao
- 38 MF スン・クー SUN Ke
- 39 FW ワン・ヨンポー WANG Yongpo

※出場停止なし

予想スターティングメンバー



KASHIWA Reysol



TIANJIN Quanjian fc

Stop the Key Player

天津権健
10FW アレシャンドレ・パト

ブラジル代表として国際Aマッチ23試合出場10得点。スピードとテクニックに長け、高い決定力を有する。17歳のときにインテルナシオナルでの活躍を機に欧州のビッグクラブが獲得に乗り出したことで一躍有名になった。ミランでの華々しい活躍以降は、度重なる故障に苦しめられながら、コリンチャンス、サンパウロ、チェルシー、ビジャレアルを渡り歩き、昨年天津権健へ移籍。このワールドクラスのFWを自由にさせてはいけない。

天津権健足球俱樂部

<http://www.chinaquanjianfc.com/>

2006年に設立された天津松江足球俱樂部をルーツとする。一時ホームタウンを天津市から内モンゴル自治区のフフホト市へ移すも後に天津市に復帰、2015年に天津権健足球俱樂部とクラブ名称を変更した。2007年から中国乙級リーグ(3部)に所属していたが、2011年より中国甲級リーグ(2部)へ昇格、2016年に甲級リーグ優勝を成し遂げ中国スーパーリーグ(1部)昇格を果たした。トップリーグ昇格直後の昨シーズンはいきなり3位と躍進し、ACLプレーオフ出場権を獲得。プレーオフではフィリピンのセレスFCを破ってグループリーグへと駒を進めた。

Reysol Goods!

ユニフォーム型アクリルキーホルダー(柏から世界へ) ¥756



新商品発売のお知らせ
ユニフォーム型アクリルキーホルダー
「柏から世界へ」

※記載されている金額は消費税(8%)込みの金額となります。

◎会場内グッズ売店、オンラインショップ、各オフィシャルショップにてお買い求め頂けます。

※店舗によって在庫状況が異なります。品切れの際はご容赦下さい。

◎柏レイソル公式オンラインショップURL

<http://www.reysol-online.jp/>



39DF Masashi KAMEKAWA 亀川諒史

—— 始動から2ヶ月。レイソルに加入して、どのようなものを感じていますか？
「昨年何試合か見ていましたし、ボールを保持するスタイルはイメージどおりのチームという印象です。さらに若手とベテランが良い形で融合しているという印象も持っていたので、2ヶ月一緒にやってきましたが、その点でも自分のイメージどおりのチームでした」
—— 新チームのサッカーに馴染むのに時間を要する選手もいますが、亀川選手はいかがでしょう？
「自分ではその部分でのストレスはあまり感じていません。フィットしているかどうかは周りが判断することだと僕は思っていますが、自分自身は100%フィットするために何ができるかを整理しながらこの2ヶ月やってきました。あとはプレーオフがあった分、仕上げる時間も凝縮されていたというのもあって、戦術面についても細かく指示されていた部分も多かったです。だからこそすんなりいけたのかなと感じています。アビスパはボールを持つチームではなかったのですが、最初は慣れるまでに時間は必要ですが、今は全く混乱なく、チームの決め事は頭に入っていますし、身体が動くようになっていっています」

—— ACL初戦の全北戦は2点差を逆転される悔しい敗戦になりました。改めて振り返っていただけますか？
「まずはピッチ環境が、あんなに凍っているグラウンドでやるのはサッカー人生で初めてでした。これが世界で戦うということなんだと改めて実感しました。アウェイの難しさもありましたが、その中でも打ち勝っていく力強さが必要だと感じました。前半は自分たち

のペースに持ち込み、球際で戦って良い試合ができていた中でまさかの逆転負け。ショックは少なからずありますし、ああいう国際試合の重要な試合はセットプレーで決まるんだと改めて痛感しました」
—— 全北の想像以上の圧力の強さに戸惑いはありましたか？
「それはなかったです。海外のクラブと対戦したのは初めてでしたが、雰囲気は独特だなと感じましたが、韓国のチームは球際やファイトするところが強みでも、前半は自分たちのペースで試合を運べて、2点を奪えたのでは、メンタル的なところではリラックスしてきたかなというのがありますね。ただ、後半になって全北が前線に高さのある選手を2枚置いてきて難しくなっていました」
—— 3失点目は亀川選手が絡む形になりました。どのように分析されていますか？
「あの失点に関しては自分の準備不足だと思っています。一つ前で「伊東」がヘディングで触るかなと思っただけで止めてしまい、あとは自分のマークについてはオフサイドという認識があったので大丈夫だと判断しました。でもセンターバックの後ろから走ってきた選手は見えていなかったもので、あれに関しては間違いなく自分のミスです。あの状況ならば引き分けで終えなければいけない試合だったのを、勝点を落とすことになったことに責任を感じています。シュートはスパーでしたが、ああいう致命的なミスをしてしまうと、あの時間帯に仕留めしてしまうのがアジアのトップレベルだなと感じました。この経験は絶対に今後につなげな

ければいけないと思っています」
—— 今回の相手は中国の天津権健です。アレシャンドレ・パト選手、モデスト選手、ウィツェル選手という欧州・南米の代表クラス選手を擁するチームです。
「サイドバックというポジションは、相手の強烈な選手とマッチアップする機会が多いので、名前の知れた選手、強烈な選手と対戦できることは高いモチベーションになります。そこで自分が勝たなければチームがやられてしまうぐらいの気持ちでやっています。相手が良い選手ほど燃える部分はありますね。でもACLに出ているチームですから、彼らだけを抑えれば良いというものでもありません。チームとしてどうやって戦うかを整理しなければいけないと思います。ポイントになるのは自分たちがボールを保持する時間を増やせるか。今回はホームですし、自分たちのやりたいことをやらなければいけないです。その中でも耐える時間もあると思うので、そう言ったときにピッチにいる選手でしっかり解決できるかが鍵になります。全北戦は悔しい敗戦でしたが、今から結果を変えられるわけではないので、天津戦に向けて修正すべきところは修正し、良い内容に変えて、なおかつ結果をつかめるように全北戦の敗戦を生かさなければいけないと思います」
—— 最後にサポーターへのメッセージをお願いします。
「必ず勝たなければいけない試合です。一人でも多くのサポーターに足を運んでもらって、勝利の瞬間を一緒に喜び合えたらと思っています。大勢のサポーターに駆けつけてもらって、僕たちにパワーを送ってほしいと思います」



中谷、副キャプテン就任

2月4日のちばぎんカップ、そしてACL第1戦の全北現代戦と、大谷秀和がピッチから退く際に、キャプテンマークを委ねたのは中谷進之介だった。彼は今年から、クリスティアーノとともに正式にチームの副キャプテンの重責を任されたのだ。

「シモさん（下平監督）から責任感のある仕事をいただきました。そこは自分の中でやりつつ、タニくん（大谷秀和）をサポートする必要はまずないと思いますけど、練習から自分らしくやっていきたいと思っています」

中谷は、副キャプテン就任の決意をそう口にした。

思えば大谷がキャプテンを任されたのは、ちょうど今から10年前の2008年。当時、大谷が23歳のときだった。そして、中谷は今年の3月24日で22歳になる。今回の中谷の副キャプテン就任は、彼にとっても、チームにとっても、非常に良いタイミングだと思う。以下は、下平監督が中谷を抜擢した理由である。

「まずは若い選手から副キャプテンを出したいという考えがありました。他にも候補はいたんですが、シン（中谷）の発するエネルギーには天性のものがあります。それに昨年の終盤はケガの影

響もあり、最後はサブだった悔しい思いもあると思います。日本代表に入りたいという彼なりの思いもあるでしょう。副キャプテンとしてチームのためになってくれると思います」

中谷は高校3年のときにU-18のキャプテンを務めた。高校2年次から中村航輔、中川寛斗らの代に混ざり、レギュラーのセンターバックとして活躍していたが、キャプテン就任以降はメンタル面の著しい成長が見られ、プレーでも安定感が増した。1年間に渡ってチームを統率し、最終的に年末の参入戦を制して、一つ下の中山雄太、手塚康平の代へ、翌年のU-18プレミアリーグEASTで戦う権利を置き土産にトップチームへ昇格していくのである。

下平監督が「発するエネルギーには天性のものがある」との評価を与えるとおり、中谷は元来キャプテンシーを持った選手だ。その彼自身が、副キャプテン就任によって「余計に気持ちが引き締まる思いがした」と、以前よりも強く責任感を感じている。U-18時代同様、改めて重責のあるポストを担うことで、中谷のさらなる飛躍が期待される。

ACLと並行して戦う過密日程を強いられる今季は、大谷がスタメンでピッチに立たない試合が出てくる可能性も十分に考えられる。となれば、

その試合で中谷が腕章を託される機会も多いだろう。

もちろんキャプテンマークは飾りではない。試合中では、チーム全体を鼓舞するのは当然のことながら、刻々と変わる戦況の中でチーム内のコミュニケーションを密にするその中心に位置し、ジャッジングの面で不可解な部分があれば、レフェリーとの話し合いも求められる。場合によれば、試合終了後にスポークスマンとしてチームを代表してメディアの前にも立たなければならない。

再び下平監督の言葉を記すと「シンはそういうポストを意気に感じて、プラスに変えられる選手です。それがチームのためになると思いますし、彼も成長につなげてくれるはずですよ」と指揮官は彼の成長に太鼓判を押す。

3年前、プロ2年目で迎えたACLはまだ主力の座を勝ち取っていなかった。ただ、今年チームの確固たる中心選手にして、副キャプテンとして迎えるアジアの舞台である。天津権健の強力アタッカーを封じる背番号4の力強い活躍を見せてほしい。

Profile / 鈴木潤 Jun SUZUKI

レイソルを中心に国内ユース年代から海外サッカーなどを取材。日々の取材を発信するHP「柏フットボールジャーナル」も運営。

サッカーを愛する皆様へ

Jリーグ及び柏レイソルでは、安全で快適な試合観戦環境をご提供するため、「試合運営管理規程」に基づいて試合の安全管理とセキュリティを行っております。ご観戦の際は、柏レイソル公式HPや各入場ゲート付近に掲出している「試合運営管理規程」を遵守していただき、試合の雰囲気を盛り上げるようなフェアな応援をお願いいたします。観戦ルールやマナーを守っていただくことで「安全で快適なスタジアム」は実現できると考えております。皆様のご理解・ご協力を宜しくお願い申し上げます。また地震が多発している状況を受け、当クラブでは安全対策の強化に取り組んでいます。試合前、試合中に大きな揺れを感じた場合はあわてて出口や通路、階段に殺到しないようし、身をかかめ、頭を保護するなど身の安全を確保してください。なお、試合中に緊急地震速報が発表された場合、一時試合を中断いたします。場内アナウンスの指示に従って落ち着いて行動していただきますようお願いいたします。

KASHIWA Reysol 2018 Game Schedule

明治安田生命Jリーグディビジョン1

節	日付	時刻	対戦相手	会場	ホーム/アウェイ
1	2月25日(日)	13:00	ベガルタ仙台	ユアスタ	A
2	3月2日(金)	19:30	横浜F・マリノス	三協F柏	H
3	3月10日(土)	15:00	セレッソ大阪	三協F柏	H
4	3月18日(日)	15:00	ガンバ大阪	吹田S	A
5	3月30日(金)	19:30	ヴィッセル神戸	三協F柏	H
6	4月8日(日)	15:00	サンフレッチェ広島	三協F柏	H
7	4月11日(水)	20:00	サガン鳥栖	ベアスタ	A
8	4月14日(土)	14:00	北海道コンサドーレ札幌	三協F柏	H
9	4月22日(日)	16:00	V・ファーレン長崎	トラスタ	A
10	4月25日(水)	19:00	浦和レッズ	三協F柏	H
11	4月28日(土)	14:00	清水エスパルス	アイスタ	A
12	5月2日(水)	19:00	湘南ベルマーレ	BMWスタ	A
13	5月5日(土・祝)	14:00	ジュビロ磐田	三協F柏	H
14	5月12日(土) or 7月25日(水) ^{*1}	15:00	川崎フロンターレ	三協F柏	H
15	5月20日(日)	14:00	名古屋グランパス	豊田S	A
16	7月18日(水)	19:00	FC東京	三協F柏	H
17	7月22日(日)	18:30	鹿島アントラーズ	カシマ	A

節	日付	時刻	対戦相手	会場	ホーム/アウェイ
18	7月28日(土)	19:00	ヴィッセル神戸	ノエスタ	A
19	8月1日(水)	19:30	湘南ベルマーレ	三協F柏	H
20	8月5日(日)	14:00	北海道コンサドーレ札幌	札幌T	A
21	8月11日(土・祝)	19:00	ベガルタ仙台	三協F柏	H
22	8月15日(水)	19:00	FC東京	味スタ	A
23	8月19日(日)	19:00	ジュビロ磐田	ヤマハ	A
24	8月25日(土) ^{*2}	19:00	V・ファーレン長崎	三協F柏	H
25	9月1日(土) or 9月2日(日)未定		横浜F・マリノス	日産スタ	A
26	9月15日(土) or 9月16日(日) ^{*3}	未定	清水エスパルス	三協F柏	H
27	9月22日(土) or 9月23日(日・祝)未定		サガン鳥栖	三協F柏	H
28	9月29日(土) or 9月30日(日)未定		浦和レッズ	埼玉S	A
29	10月6日(土) or 10月7日(日)未定		サンフレッチェ広島	Eスタ	A
30	10月19日(金)	未定	名古屋グランパス	三協F柏	H
31	11月3日(土・祝) or 11月4日(日) ^{*4}	未定	川崎フロンターレ	等々力	A
32	11月10日(土) ^{*5}	未定	鹿島アントラーズ	三協F柏	H
33	11月24日(土)	未定	セレッソ大阪	ヤンマー	A
34	12月1日(土)	未定	ガンバ大阪	三協F柏	H

*1 両チームもしくはいずれかのチームがAFCチャンピオンズリーグ2018ラウンド16に進出した場合、7月25日(水)に開催。両チームともにAFCチャンピオンズリーグ2018ラウンド16に進出しなかった場合、5月12日(土)に開催となります。
 *2 AFCチャンピオンズリーグ2018において柏が準々決勝に進出した場合、開催日が8月24日(金) 19:30@三協F柏に変更となる可能性があります。
 *3 AFCチャンピオンズリーグ2018において柏が準々決勝に進出した場合、開催日が9月14日(金)に変更となる可能性があります。
 *4 AFCチャンピオンズリーグ2018において出場クラブが決勝に進出した場合、開催日が10月31日(水)に変更となる可能性があります。
 *5 AFCチャンピオンズリーグ2018において出場クラブが決勝に進出した場合、開催日が11月6日(火)もしくは11月7日(水)に変更となる可能性があります。

AFC
チャンピオンズリーグ
2018
グループステージ
グループE

節	日付	時刻	対戦相手	会場	ホーム/アウェイ	結果
1	2月13日(火)	19:30	全北現代モータース(KOR)	全州	A	●2-3
2	2月20日(火)	19:30	プレーオフ4勝者	日立柏	H	
3	3月6日(火)	19:30	傑志FC(HKG)	日立柏	H	
4	3月14日(水)	20:00(現地)	傑志FC(HKG)	香港	A	
5	4月4日(水)	19:30	全北現代モータース(KOR)	日立柏	H	
6	4月18日(水)	未定	プレーオフ4勝者	未定	A	